

三條かの記念館 開館 25 周年記念事業

2022 9 月 18 日 (日)

後援 米沢市剣道連盟

会場 三條かの記念館
米沢市城南 1-5-27

入場料 無料



柳生新陰流

講演会・演武会

講演会 9:00~

講師 柳生新陰流 22 世宗家 柳生 耕一 先生

演題 尾張に伝わった「柳生新陰流兵法」~武道の精神~

演武会 10:00~

演武者 柳生会の皆さま

体験教室 10:50~

希望者に新陰流を体験してもらうコーナー

お申し込み 備え付けの「申し込み用紙」または「三條かの記念館ホームページ」(右下 QR コード) などの申し込み方法により受け付けます。(定員 80 名)

戦国時代、上州の「上泉信綱」は多くの流派の習得と度重なる戦いの中から「新陰流」を創出した。「信綱」は剣聖ともいわれ多くの武芸者を指導したが、特に大和の「柳生宗厳」の才能を認め、後継者としてすべてを相伝した。

その後、柳生家は江戸と尾張に分かれて徳川家の兵法指南役となるが、尾張の柳生家は流祖以来の教えを代々大切に発展的に守り伝え、「柳生新陰流」として今日に至る。この度の講師「柳生耕一」氏は第 22 代目の宗家となる。

「上泉信綱」の孫・「上泉泰綱」は上杉藩の武将となり上州から米沢に移り住んだ。最上軍との戦いで戦死したが、その後の家系は現当主「上泉一治」氏まで続いている。

「新陰流」の師弟関係にあった「上泉家」と「柳生家」は長年の念願が叶い、平成 11 年に「上泉一治」氏と 21 世宗家「柳生延春」氏は名古屋で対面。両家は戦国時代に出会ってから実に 436 年ぶりとなる歴史的な再会となった。以来、毎年のように米沢で「柳生会」の合宿が行われている。

